

中学生夢に向かって前進挑戦!皆ありがとう

芳賀祐希さん

(城崎町湯島)
(平成11年生まれ)



卯年12歳。これまでいろいろなことがありました。だけど、たくさんの人たちに支えてもらい、ここまでこれました。春から中学生。夢に向かって前進そして挑戦。頑張ります。皆さんありがとうございます。これからも応援してください。

挑戦する年に

大坪美森さん

(宮島)
(平成11年生まれ)



私は、今年、生まれて初めての年女を迎えます。そして、小学校最高学年の6年生になり、委員会やクラブでもリーダーになることが多いと思うので、今年からは6年生らしく、積極的に何でも挑戦していきたいです。

すべてが私の力になる!

志水奈央さん

(出石町宵田)
(昭和62年生まれ)



私は、小学校で臨時教師をしています。憧れだった教師になれてうれしい反面、毎日が勉強です。悔しい思いもたくさんあります。しかし、失敗を恐れずに、今年も私らしく挑戦していきたいです。充実した卯年にします!

自分に関わるすべての人々に、感謝!

谷山匡史さん

(若松町)
(昭和62年生まれ)



現在は、この豊岡で電車運転士をしています。毎日多くのお客様との出会いがあり、勉強させていただいています。多くのお客様に支えられていることを忘れず、感謝の気持ちを込め、万全な体調で安全運転に努めていきます。

謹賀新年

今年は卯年。年男・年女の方々を代表して、16人に抱負を語っていただきました。皆さんにとって良い年になりますように…。

毎日が感謝の日々

三好一生さん

(日高町八代)
(昭和50年生まれ)



介護の仕事に復帰して6年。相変わらず楽しいです。お年寄りからもらう笑顔やお礼の言葉は何よりも励みになるし、自分も笑顔でいられます。家族や理解ある同僚にただ感謝。今年はいち層、子どもと過ごす時間を大切にしたいです。

感謝の気持ちを忘れずに

家城美保さん

(但東町矢根)
(昭和50年生まれ)



子育てを通し出会ったたくさんの方に助けていただき、いろいろなことを学ばせてもらっています。そんな「温かい心」に感謝する気持ちを忘れず、今年も元気で一日一日を大切に、親子共に成長できる年にしたいです。

人と人とのつながりで地元を元気に

竹中さとみさん

(日高町山宮)
(昭和38年生まれ)



いろいろな分野で頑張っている方たちと出会え、視野を広げられる毎日に感謝しています。農産物の生産・加工・カルチャー教室などを通じて、地元がもっと元気になるよう関わっていきたいです。6月オープンのファーマーズマーケットでの出会いも楽しみです。

目指せ日本マスタースソフトボール全国大会

芦田元彦さん

(中央町)
(昭和38年生まれ)



私は、数年来「目指せ全国」を合言葉に、40歳以上のオヤジチームで「日々練習」「ミーティング」に励んでいます。昨年は、残念ながら全国大会1回戦敗退。年男である今年こそは、もう一花咲かせたいと思っています。

人との交わりが元気の源!!

山口 進さん
(出石町八木)
(昭和26年生まれ)



家業の商売を営みながら、消防団を35年続けてきました。その中でいろいろな人との出会いや触れ合いが、私の元気の源です。今年、還暦を迎えますが、体の動く限り仕事を続け、今度は私の元気を皆さんに還元したいと思います。

日々感謝の心を忘れずに

後藤 幸子さん
(竹野町芦谷)
(昭和26年生まれ)



無我夢中で突き進んできた日々。あっという間に還暦の年になっていました。振り返ると仕事柄、多くの人に力を借り、助けられ感謝感謝の毎日です。これからの人生、お世話になった人や誰かの役に立つことで、少しでも恩返しができればと考えています。

ステキなおばあちゃんになるために

尾畑悦子さん
(千代田町)
(昭和14年生まれ)



シニアコーラスで年2回ステージに立つことを目標に日々、楽しんで練習しています。ステージに立つとみんなステキなおばあちゃんになります。これからも歌の好きな仲間と笑顔忘れず輝き続けたいと思います。

長生きさせてもらったナア…

真田義永さん
(但東町相田)
(昭和14年生まれ)



72歳!強く残っている思い出は、小学校1年時の大戦終結。恐怖と空腹と焦燥の日々。今、小さな不満を大げさに嘆きながら、どっぷりと「おかげさま」に浸っている。もったいない…。

2011年 卯年



7回目の年男。これからは恩返しの日々に…

今西正喜さん
(出石町宵田)
(昭和2年生まれ)



屋根の瓦ふき一筋50年。今でも依頼があれば屋根に上っています。仕事ができる幸せを感じながら、お世話になった方々への恩返しにと、自分で作った花や野菜を1人暮らしの方へ毎日配っています。日々の出会いが楽しみです。

感謝の和

千葉幸代さん
(城崎町湯島)
(昭和2年生まれ)



家業の喫茶店を手伝っています。お客様との触れ合いで楽しく過ごさせていただいています。また、孫も6人おり、いつもたくさんの方から元気や笑顔をいただき感謝です。これからも日々「和」を大切に健康で明るく笑顔で過ごします。

湯浴みして、96年振り返る

鳥尾まささん
(日高町観音寺)
(大正4年生まれ)



昨年4月に急に足が立たなくなり、以後、社協の週1回の入浴サービスを受けながら、家族の世話に幸せを感じ暮らしています。せめて100歳までは…と。30年間続けてきたゲートボールがまたできるようになりたいと思います。

自分の体は自分で守る

間 寛一さん
(九日市下町)
(大正4年生まれ)



人に頼らず、自分でできることを考え、体を小まめに動かすようにしています。約2年前に入院した妻の見舞いに、片道5分の道のりを毎日自転車ですべて通っています。妻の喜ぶ顔を見て、今生あることに日々感謝しています。